

医療のひっ迫と感染の拡大を防ぐために

新規感染者数は減少傾向に転じたものの、病床使用率は依然、昨冬ピークの水準で推移しており、未だ減少は見通せない状況にあることから、医療への負荷を低減させるため、感染レベルをできる限り引き下げていかなければなりません。

道では、引き続き「BA.5 対策強化宣言」の下、集中的な取組を継続することとしました。

管内の皆様におかれましては、基本的な感染防止行動の徹底やワクチン接種の検討などを通じて、医療のひっ迫と感染の拡大の防止に御協力をお願いします。

〈取組期間 9月1日～30日〉

1 日常生活

- ・ 三密の回避、人との距離確保、手指消毒、マスク着用、換気を徹底しましょう。
- ・ 重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方、そうした方々と会う方の双方が基本的な感染防止対策を徹底し、慎重に行動しましょう。
- ・ 混雑している場所や感染リスクの高い場所はできる限り避けて行動しましょう。
- ・ 他の都府県への移動に際しては、基本的な対策を徹底し、移動先での感染リスクの高い行動を控えましょう。
- ・ 感染した場合に備え、解熱剤や3日間程度の食料等を用意しておきましょう。
- ・ 救急外来や救急車の利用は、必要な場合に限りましょう。

2 飲食

- ・ 短時間、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用しましょう。
- ・ 特に大人数や普段会わない方との飲食の際は、より一層徹底しましょう。
- ・ 北海道飲食店感染防止対策認証店【下記 QR】を利用し、飲食店等の感染防止対策に協力しましょう。

3 検査等





- ・ 感染に不安を感じる時は、ワクチン接種の有無に関わらず検査を受けましょう。
(無症状の場合) ※道では無料検査を実施しています。【下記 QR】
- ・ 重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方に会う際には、事前に検査を受け、陰性を確認しましょう。
- ・ 発熱等の症状がある場合は、外出や移動を控え、医療機関を受診しましょう。【下記 QR】
- ・ かかりつけ医などがいない場合は北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター (Tel.0120-501-507)へご相談ください。

4 ワクチン接種

- ・ 発症や重症化の予防のためにも、高齢者等（4回目）や若い方々（3回目）におかれては、積極的に接種を御検討ください。

令和4年（2022年）9月1日

空知総合振興局長、夕張市長、岩見沢市長、美瑛市長、芦別市長、赤平市長、三笠市長、滝川市長、砂川市長、歌志内市長、深川市長、南幌町長、奈井江町長、上砂川町長、由仁町長、長沼町長、栗山町長、月形町長、浦臼町長、新十津川町長、妹背牛町長、秩父別町長、雨竜町長、北竜町長、沼田町長

▼道内の感染状況	▼診療・検査医療機関	▼無料検査の実施機関	▼感染防止対策認証店
			

お問い合わせ先 空知総合振興局地域創生部地域政策課
Tel. 0126-20-0030